

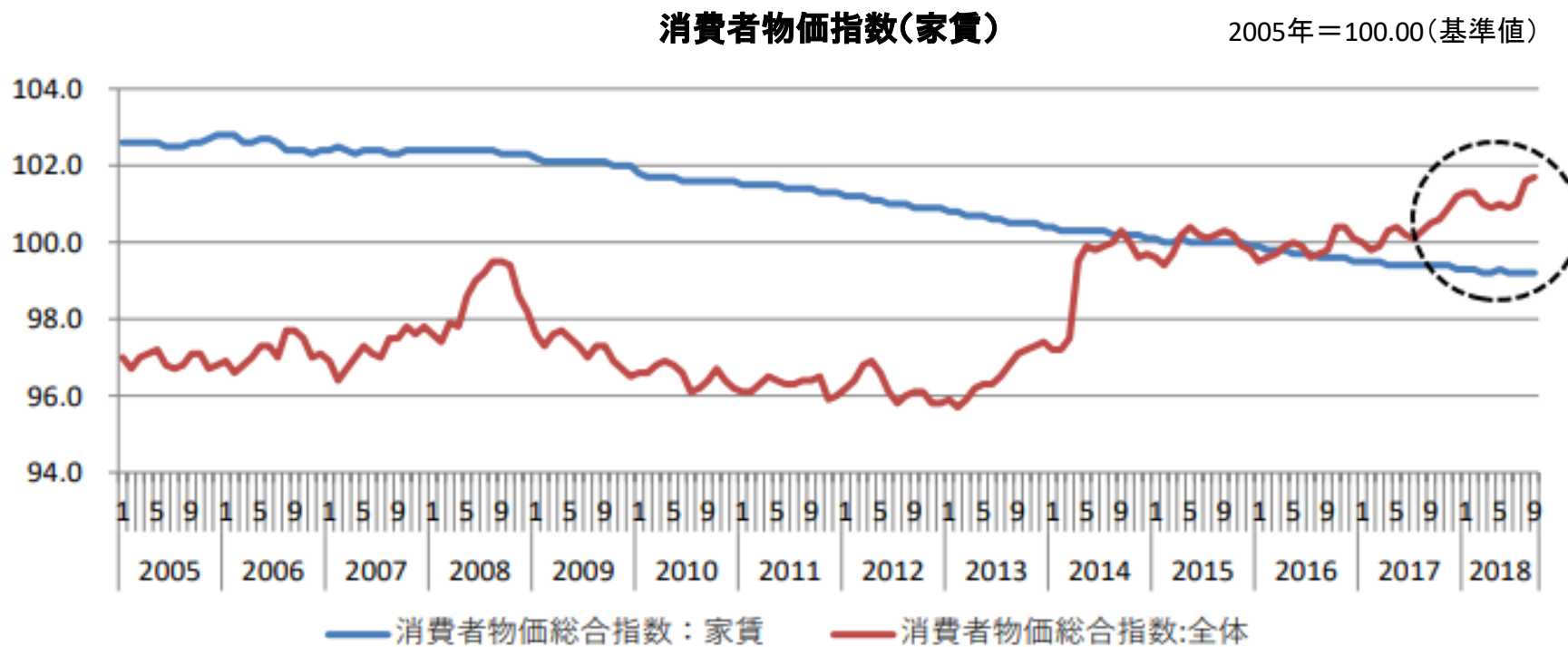
～ 市萬だより ～

# 市況情報

2018.December

## 消費者物価指数は上昇しているにも関わらず 物件の供給過多により、家賃の下落は止まらない

下記は総務庁発表の消費者物価指数のグラフです。景気回復の効果か全体平均は上昇していますが、青いグラフで示した家賃については、2005年から12年間、右肩下がりになっているのがわかります。空室率が19%と部屋が余っているにも関わらず、新築が増え続けているため、当然家賃は下がってしまいます。家賃の下落は今後も続きそうです。



出典：(公社)全国宅地建物取引業協会連合会 不動産総合研究所「不動産市場動向データ 2018年10月」

この件に関するお問い合わせは

株式会社市萬 不動産経営アカデミー事務局

☎03-5491-5213